

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [岐阜県立郡上北高等学校] 担当教諭名 [天野 由佳] (1年1組 28名)
 交流相手国 [イタリア]
 海外学校名 [Liceo Scientifico G. Galilei] 担当教諭名 [Rita Amoroso]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	LHR	英語で自己紹介をする	2
	総合的な学習の時間	国際交流で絵を描く	10
	LHR	完成作品の鑑賞会	1

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	異文化理解
絵に込めたメッセージ	自国の文化を相手国に伝えると共に、相手国の文化についても調べ学習をしたため、自国の文化と相手国の文化の融合を図った。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
田舎育ちで人間関係が限られている生徒達が、国境を越えて他国の同世代と交流できたことが大きな成果。英語に対して苦手意識が強い生徒が多い中、英語の授業とは違った角度から英語を活用できた。日本に無い文化に興味を持つことができたし、受け取る相手がいるという点でモチベーションが高かった。	英語で自国文化を伝えるにはスモールステップを設定する必要がある。その場合、限定的な英語表現で単調な文化説明になってしまう可能性が高い。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
文化祭でクラス展示を行い、校内の生徒のみならず、保護者や地域の方々にも日本完成側を見ていただけた。	文化祭の展示部門で全校1位に選ばれた。他校からアートマイルについての問い合わせがあった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月	英語で自己紹介を作成し、掲示板上に書き込んだ。	ただの英語による自己紹介ではなく、それを受け取る相手がいるという点で、モチベーションが高かった。	2
情報収集	10月	岐阜県の文化について何をイタリアの生徒に伝えたいかを話し合い、自国文化について調べ学習を行った。図書館とインターネットを利用した。	岐阜県のこれについて伝えたいという意識が高かった。インターネットや図書館以外からも情報収集ができればなお良かった。	2
テーマ検討	11月	構図等について掲示板を通じて意見交流をした。	グループに分かれ、いくつかの下書きを候補に挙げた。その中から意見を交流して下書きを完成させた。	2
制作	11月	壁画を作成するグループ、文化祭に向けての飾りを作成するグループ、イタリアの文化について調べ学習をするグループに分かれて作業をした。	送られてきた相手国の文化についての英語説明を、辞書で調べながら懸命に日本語に訳す姿が印象的だった。	6
鑑賞	3月	共同制作した絵の鑑賞	クラス解体にあたる終業日に鑑賞した。同封されていたイタリア、ランチャーノ市伝統のお菓子やメッセージカードも楽しんだ。	1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	私が予想していた以上に、生徒が郡上市の文化に詳しく、自分の町をよく理解できていることが分かった。
異文化の理解	A	4	最初はイタリアと聞いても現実味が無い様子だったが、自己紹介文や文化の説明が送られてくるうちに異文化に興味を持った。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	普段の英語の授業とは別の時間に行ったこともあり、リラックスして英語への抵抗も少なく活動できた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	インターネットの調べ学習のみで単調だった。例えば、市のウェブサイト質問を投稿するなど工夫できるとより良かった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	協力しながら壁画を完成することができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	自分の役割に責任を持って取り組めた。
学習を追究する意欲	A	3	普段の英語の授業より我慢強く英語の辞書を活用して、イタリアから送られてきた英文に向き合うことができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	下絵から様々なアイデアが出て、上手く融合することができた。
作品を鑑賞する力	B	3	完成した絵を見て感動した。